

登別が誇るもの

登別の魅力は温泉だけではありません。登別には、豊かな自然からもたらされるさまざまな資源があり、それらをさらに魅力ある製品にしていく事業者も多く存在します。

それら市内の特産品の知名度や信頼をもっと高めよう、そして、地域産業の活性化を図ろうと『登別ブランド推進協議会』では、主に『登別ブランド推奨品の認定・販売促進』と『登別閻魔やしそばの普及』に取り組んできました。

特に、平成27年度から提供を開始した『登別閻魔やしそば』は、市内29の飲食店で提供されているほか、市内外のイベントに出店し、3年間で約22万食を越えるなど、登別のグルメとして定着しつつあり、一定の成果が出ていると思います。

昨年には、『登別ブランド推奨品』を、より身近に購入いただけるよう

お買い得なギフトセットの通年販売を始め、また、年々増加している外国人観光客への対応について学ぶ『外国人観光客受け入れセミナー』を開催するなど、活動の幅を広げているところです。しかし、市民の皆さんでまだ『登別ブランド推奨品』や『登別閻魔やしそば』を一度も食べたことがないという人がいるのではないのでしょうか。

今年、『登別ブランド推進協議会』が設置されて10周年を迎えます。今一度、初心にかえり、市民の皆さんにご賞味いただき、市民自ら登別の魅力を発信していただけるよう取り組んでいきたいと思えます。



▲登別中央ショッピングセンター内で行った登別ブランド推奨品の『大試食会』



佐藤 大輝さん (富士町)

室蘭東翔高等学校を卒業し、平成29年4月に日本工学院北海道専門学校情報処理科に入学。2年間、プログラミングやシステム開発などを学びながら、市内の各種イベントにボランティアとして参加してきた。平成31年登別市成人祭の実行委員も務める。

日本工学院北海道専門学校に入学してからの2年間、私は、情報処理の技術などについて学ぶとともに、多くのお祭りなどにボランティアとして参加してきました。

先生や先輩に誘われたことがきっかけでしたが、初めて参加した『登別夏まつり』で、これまで客として楽しんで来たお祭りに、支える側として参加することの楽しさを知り、それ以来、『登別地獄まつり』や『鬼まつり』、『登別こいのぼりマラソン』など、可能な限りボランティアを続けてきました。

また、1月13日(日)に行われる『平成31年成人祭』には、実行委員として参加します。参加者全員で盛り上がるよう、さまざまなアトラクションを考えているので、ぜひ、多くの人に参加してもらいたいと思います。当日配布する『しおり』についても、

実行委員の思いがこもっているの注目してください。

私は、4月から東京都にあるIT関係の企業で働きます。

生まれて初めて登別市を離れ、たった一人での生活を送ることに少し不安もありますが、一人の成人として、また一人の社会人として責任をもつことに、大きな希望もあります。

IT技術は常に進化し続けているため、就職してからも、勉強の毎日ですが、早く一人で仕事を任せてもらえるよう頑張ります。

また、東京でも、現在と同様に、自ら進んでさまざまな活動に参加していきたいと思っています。



▲元鬼ふりまき隊として参加した鬼まつり



成田 光男さん (登別東町)

登別東町でコンビニエンスストアを営みながら、平成21年4月1日の設置当初から『登別ブランド推進協議会』の会長を務めるほか、登別まちづくり促進期成会や登別商店会の会長なども務め、日々、まちづくり活動に精力的に取り組む。

新天地への決意